

芸術工学部・学府 留学報告書（2024－2025）

留 学 先	1. 国（地域）名：オランダ アムステルダム
	2. 機 関 名：アムステルダム応用科学大学
	3. プログラム（コース）名： Digital Society School (DSS)
留学期間	2024 年 8 月後半 ～ 2025 年 2 月中旬（合計 6 か月間）
帰国日	2025 年 2 月 15 日
留学費用	1. 留学にかかった総費用：約（ 250万 ） 円 旅行10カ国程度してます 2. 留学費用を負担した機関等を選んでください。（複数選択可） ☐ 受入機関 ☒ 九大 ☒ JASSO ☒ 奨学財団 ☒ 私費 ☐ その他 （ ） 3. 上記私費以外を選択した場合、助成、奨学金等の名称： （ 九大渡航費支援25万、キーエンス奨学金30万、 JASSO43万） 月額：約（ JASSO 8万 ） 円
語学力	1. どのような準備をしましたか。 対策本で勉強、英語のラジオを聴く 2. 出発時点の T O E F L 等の公的試験の最終得点は、何点でしたか。 試験の名称：（ IELTS ）
事前手続き（ビザ申請など）	
ビザ	1. ビザの申請時期は？ ☒ 出発前 入国時 その他（ ） 2. 取得したビザの種類はなんですか？（ IND ） 3. ビザの申請先はどこでしたか？ （ Team AUAS Immigration Affairs ） 4. ビザ取得までの所要日数は？（ 渡航ひと月以内 ） 日 5. 申請に必要な書類を教えてください。 6. 手続き方法 ☒ オンライン申請 ☐ 窓口申請 ☐ 郵送申請 ☐ 代行申請 ・手続きするにあたり注意すべき点、困ったこと等があれば教えてください。 手続きは全体的に大変わかりやすくスムーズで早いです。アムステルダム市内にある現地のオフィスに赴いて指紋と顔写真撮影をしたのちに、ユトレヒトの別の場所に交付されるレジデンスカードの受け取りに行きました。最初の訪問の方はメールで案内が来るので自分で日時予約をしています。
その他の事前準備	その他、済ませておきべき準備があれば記入してください。（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

留学時に関する質問

履修登録・単位認定

1. 出発前に履修登録はできましたか。(はい いいえ)

2. 到着後の履修科目の変更・追加はできましたか。(はい いいえ)

「はい」の場合、どのような方法で変更・追加しましたか。

☐窓口

☐電話

☐オンライン

☐メール

☐その他：()

3. 一学期あたりの履修科目・単位数は：(1) 科目 (1) 単位

(多すぎた ちょうど良かった 少なかった)

4. 履修登録に関するカウンセリング等ありましたか。(はい いいえ)

「はい」の場合、具体的にどのようなものでしたか。

5. 留学先での単位認定はありましたか。(はい いいえ)

「はい」の場合、認定された科目・単位数：() 科目 () 単位

授業内容

1. あなたが履修した科目の概要・内容などを具体的に教えてください。

(授業科目名)

(週当たり時間数)(取得単

Digital Society School (DSS)	週4日月曜から木曜	
	9:30~17:00	

・語学面の習得に努力した点や、専門分野での進歩につながる点などを記述してください。

インターンシップなのでよりビジネス実践的な英語が習得できた。また他の参加者の年代層が30-40歳と第二のキャリア探しの方が多いため、デザイン分野での世界的な職探しの話が聞けて自身の人生設計においても色々と参考になった。自身のチームプロジェクトテーマがサステナビリティ、AI、メディア産業と元々馴染みのないトピックだったが、むしろ視野が広がったためになった。十分なサポートを受けた環境で5ヶ月というまとまった期間じっくりと創り上げていく体験ができ大変貴重だった。

2. 学年暦（学期・休暇）と現地での授業スタイル、予習・復習、試験等の準備について具体的に教えてください。

①学年暦：授業開始/終了日を教えてください。

Semester I (Sep1 - Jan24) II (-)

Quarter I (-) II (-)

III (-) IV (-)

②授業スタイルはどのようなものでしたか？

講義 ■ 演習 その他 ()

1 クラス人数 (35くらい) 人

気づいたこと：留学生は自分のみ、他の参加者はオランダでの就職を目指して準備中。

EU圏外からの参加者が多い。アフリカや西アジア多め。

授業内容	③予習・復習について：時間外業務は基本的に発生しない。 ④試験：月に一回Sprint Reviewという報告会会議で、相手の企業のオフィスに行ってプレゼンをする。1月22日のFinal Showcaseでは外部の人達も招いて5ヶ月の成果をお披露目。
学内施設・環境等	1. International Office のサポート体制 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 具体的に： 2. 留学先大学の教員のサポートについて（コミュニケーションはうまくとれていましたか？） 具体的に：とてもサポートが手厚い。インストラクターの皆さんやチームメイト、TOと呼ばれるまとめ役の教授が親身に話を聞いてくれ大変アットホームだった。 3. 各学内施設の使いやすさについて記入してください。また、利用可能時間や具体的な利用手続き方法をそれぞれ記入してください。 ① 工房 ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法：一階下に工房があり大変使いやすい ② プロジェクトルーム、研究室などの作業スペース ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ③ 図書館 ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ④ 運動施設 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ⑤ 学生食堂 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 利用時間や手続き方法：オランダは昼食持参文化らしいです。タッパに詰めてお弁当作っていました。 ⑥ クリニック/ヘルスセンター ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法：学校がドクター紹介してくれるらしいです ⑦ 学内通信環境 ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい 利用時間や手続き方法： 4. 大学内は安全でしたか。 ☐ 九大より安全 ☒ 九大と変わらない ☐ あまり安全ではない) ・あまり安全ではないと感じた点は、どんなところですか 日本の一般的な私立大学と同様、普通にキャンパスは綺麗で周辺の治安も良好。 ・学内で安全について特に気をつけていたことはありますか。

お金の管理や受け取りについて	1.銀行口座は開設しましたか (はい ■いいえ) ・差し支えなければ、開設した銀行名を教えてください。() ・どのような手続きが必要でしたか？ 2.その他、現地でのお金の管理や受け取り方法について、良い方法があれば教えてください。 オランダ国内は現金は全く使いません。全てクレジットやデビットカードで済まされます。ドイツ旅行のクリスマスマーケットの時だけ使いました。カードは念の為3枚持っていましたが、特にトラブルはなくずっと同じ1枚を使っていました。
治安状況 (学外)	渡航先の治安は (☐日本より良い ☐日本と変わらない ■日本より悪い ☐日本よりかなり悪い) ・特に近づかない方がよいと感じた地区や場所がありましたか。 大麻や売春が合法なので、夜にRed District周辺や中心地の暗い細道には近づかない方がいいです。全体的には想像以上に治安が良く、一回もスリにあって身危険を感じることはありませんでした。が用心するに越した事はないです。
インターンシップ	インターンシップに関する情報はありましたか (はい いいえ わからない) ・具体的な情報があれば教えてください。参加していたプログラム自体がインターンなので、他のインターンの情報も定期的に教えてくれました。

留学全般に関する質問 (日英表記してください。)

留学の感想	1. なぜこの留学先大学を選びましたか？(日英併記) 英語が非母国語の国としては世界一英語力のレベルが高く、ビザ申請の行政手続きがスムーズで、交通網も発達していて、生活に困らないと知ったからです。また、他の部局間留学の選択肢の中で、インダストリアルデザインコース生として自分の学問的興味を考えたとき、DSSプログラムが一番しっくりきたことも大きかったです。アムステルダムは移民も多く、自由で寛容な雰囲気があるため、留学生として暮らしやすい点も気に入っています。街並みも綺麗で、ヨーロッパハブ空港であるスキポールが便利な点にも惹かれました。 I chose this university because it is located in a country where the English proficiency is the highest among non-native English-speaking countries. The visa application process is smooth, and the public transportation system is well-developed, making daily life easier. Additionally, when considering my academic interests as an industrial design student, the DSS program stood out as the best fit compared to other study abroad options. Amsterdam is also known for its diverse population and liberal, tolerant atmosphere, which makes it an ideal place to live as an international student. The city itself is beautiful, and the convenience of Schiphol Airport, a major European hub, adds to the appeal.
-------	--

留学の感想	2.あなたが感じた留学先大学の魅力を教えてください。(日英併記) アムステルダム応用科学大学はその名の通り実践を大事にする大学です。チームワークが求められるので、国際色豊かな周りのメンバーとの交流が深く、親睦がかなり深まったことが大きな魅力でした。実際の業界の課題を反映したプロジェクトに取り組む機会を提供しており、学んだ知識をリアルなシナリオで直接活かすことができます。また、オランダ人の国民性らしい率直で簡潔、効率的なコミュニケーションや時間に正確であること、フィードバック文化を大事にするプログラムの雰囲気も気に入っています。キャンパスのアクセスや環境も良好で、好きなことを好きなように応援してくれるセーフプレイスとして、自由に自分の興味を追求できる環境だと感じました。 Amsterdam University of Applied Sciences, true to its name, values practical experience. One of the most rewarding aspects for me was the teamwork required, which allowed me to connect deeply with international classmates. These interactions greatly enhanced my learning experience. The university offers opportunities to engage in projects that reflect real-world industry challenges, allowing us to apply the knowledge we gained in actual scenarios. I also appreciated the Dutch cultural values reflected in the program—direct, concise, efficient communication, punctuality, and a strong emphasis on feedback. The campus is easily accessible, and the environment is conducive to pursuing one's passions in a supportive, safe space where we're encouraged to follow our interests freely. 3.留学中、どのような困難に直面しましたか？またそれをどのように克服しましたか？(日英併記) 留学中に直面した主な困難は、「結論ファースト」でなるべく短くわかりやすく話すことに苦労したことです。日本語では文法の構造上、結論が文章の最後に来ることが多いため、その順番を意識的にひっくり返すようにしていました。また、アイコンタクトやボディーインタラクションに慣れていなかったため、最初は戸惑うこともありました。それを克服するために、誠意を持って正直でいるよう気をつけ、建前と本音の二重構造を避けるようにしました。また、同意を示す意味で「No」を使うことがあるという点も最初は混乱しましたが、だんだん使いこなせるようになりました。 The main difficulty I faced during my study abroad was learning to prioritize "conclusion first" and to keep my communication short and clear. In Japanese, the conclusion often comes at the end of the sentence due to the structure of the language, so I had to consciously reverse that order when speaking in English. I also struggled with eye contact and body language, as it was not something I was used to. To overcome this, I focused on being sincere and honest, avoiding the two-layered structure of "tatemae" (public facade) and "honne" (true feelings) that can be common in Japan. Additionally, I learned that saying "No" can actually be a form of agreement in some contexts, which was initially confusing.
--------------	--

留学感想	4. 留学で得た成果や今後の課題について教えてください。(日英併記) 初めての半年間の海外生活では最初不安もありましたが、実際にやってみると、思ったよりうまくいき、非常に楽しい経験となりました。この経験を通じて、安心感や達成感を得るとともに、どこでも生きていけるという自信を持つことができました。また、計画的に物事を進める重要性を学びつつ、細かいことにこだわりすぎないことの大切さも実感しました。さらに、コミュニケーション力に対する自信も深まりました。AIや公営放送局のシステム、オランダ企業の雰囲気、EUの仕組みなど、さまざまな分野に興味を持つようになり、実際にその場で体験することで、より深い好奇心が芽生えました。また、サステナビリティにも関心が高まりました。また、世界中の意欲的な学生や社会人と出会う機会があり、将来の自分には多くの選択肢があることを実感しました。今後は、これまでの経験を将来の仕事にどう繋げていくかを考え、どこで、どのような方法で社会に貢献したいのか、何に最も問題意識を持っているのかをしっかりと自己分析していきたいと思っています。 During my first six months living abroad, I initially felt anxious, but I was pleasantly surprised by how smoothly everything went, making it an incredibly enjoyable experience. This gave me a sense of reassurance and accomplishment, along with confidence that I can adapt to any environment. I also learned the importance of being organized while not over-focusing on minor details. Moreover, my communication skills have improved, and I now feel more confident in my ability to interact effectively. I developed an interest in a variety of fields, including AI, the public broadcasting system, the atmosphere in Dutch companies, and the workings of the European Union. Experiencing these firsthand sparked a deeper curiosity in me. Additionally, I became more interested in sustainability as an important area of focus. I also had the chance to meet motivated students and professionals from all over the world, which made me realize that there are many options available for my future. Looking ahead, I plan to connect these experiences to my future career. I want to reflect on how and where I can contribute to society, and identify which issues I am most passionate about addressing. Engaging in deeper self-reflection will help me better understand my professional direction. 5. これから留学する学生にアドバイスをお願いします。(日英併記) 留学は実際に渡航する前から始まっています。奨学金の申請や住居の手配、友達や家族との別れなど、準備段階そのものが貴重な経験となります。心配事や煩雑な手続きも多いですが、実際に現地に行けば自然と解決します。細かいことに悩みすぎず、とにかくその経験を存分に楽しんでください！ Studying abroad really begins long before you leave. The preparation phase—applying for scholarships, arranging housing, and saying goodbye to friends and family—offers valuable experiences in itself. While there will certainly be worries and plenty of paperwork, once you're there, everything will come together. Don't get too stressed about the details; just focus on enjoying the journey and embracing the experience to the fullest!
今後の進路予定	就職 (年 月) から ■大学院進学希望予定 (2026 年 4 月) から (九州大学芸術工学院人間生活デザインコース 学府/研究科) その他 (具体的)
報告書記入日	2025 年 2 月 20 日